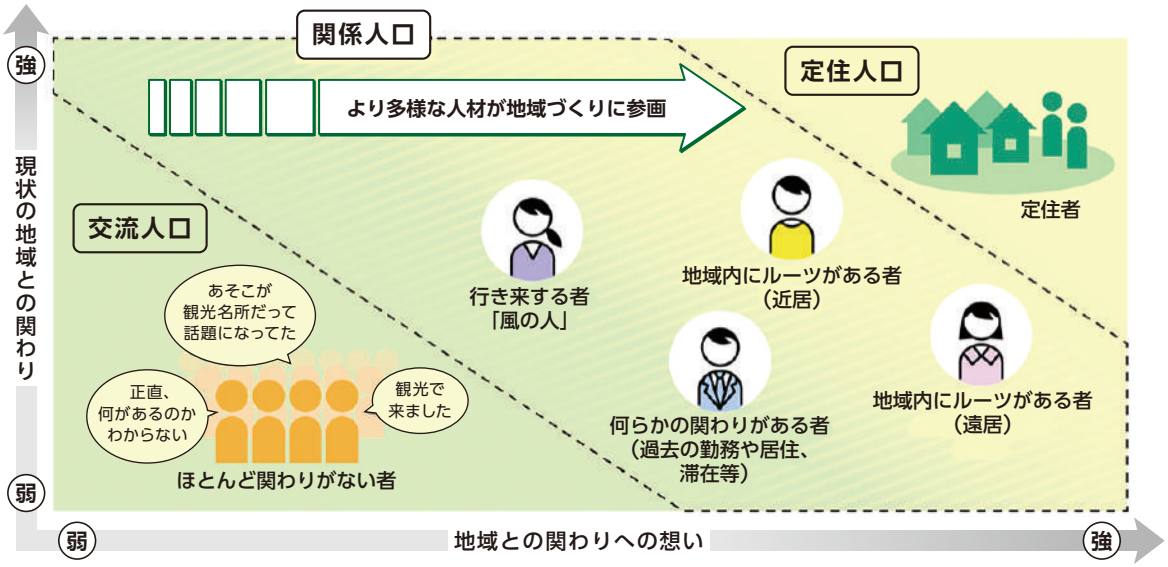
【コラム４】〈関係人口としての中山間地域への関わり方〉

「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉です。

地方圏は、人口減少・高齢化により、地域づくりの担い手不足という課題に直面しています。しかし、変化を生み出す人材が地域に入り始めている例も多くあり、「関係人口」と呼ばれる地域外の人材が、地域づくりの担い手となることが期待されています。



出典：総務省「関係人口ポータルサイト」

関係人口としての中山間地域への関わり方の具体例には以下のようなものがあります。

- 中山間地域にある名所・旧跡を巡る
- 中山間地域の農産物や特産品を購入したり、地域の飲食店を利用したりする
- 中山間地域で開催されるイベントや祭りに参加する（来場者として、運営側として）
- 中山間地域の特産品やイベントについてSNS等で発信する
- 森林保全活動や中山間地域のNPO法人等の活動に参加する
- 中山間地域のサテライトオフィスやコワーキングスペースを活用する
- 都市部に暮らしながら、中山間地域にも拠点を持ち二拠点生活を送る

このように、関係人口としての中山間地域への関わり方は様々です。

都市部にお住まいの方も都市の喧騒を離れ、中山間地域での豊かな時間を体験してみませんか？「第二のふるさと」で自然や地域との絆を育むことで、あなた自身の新たな可能性も広がります。四季折々の美しい風景、人々との温かい交流、そして地域の伝統や文化があなたの人生に新しい視点と価値をもたらすはずです。